捃拾帖 諸國之部 十

A 00
6010

諸国名物帖

A00-6010

東京帝國大學圖書之印

B 61009

昭和七年

唐和阿蘭陀
菓種砂糖類
直段格別ニ
御奉差上候

神奈川宿
榮林堂

大森立石
長寿
[illegible]漬
傳製
亀田屋製

西浦賀
松緑堂
蛇畑町

相州
内川新田
京御菓子所
駿河屋嘉七

御用
大森
[illegible]
谷田屋

江嶋
貝屋
名物
鮑粕漬
甚助

御用
大森村立石
元祖
亀の子せんべい
亀田屋製

御用
菓子御所
神奈川青木町
亀甲煎餅
常盤屋上野大掾
藤原忠長

京御菓子所
広瀬龍ノ口前
屋平四郎

精製
京御菓子所
広瀬龍ノ口前
上剣屋吉兼

根元
御菓子司
藤澤宿大久保町
稲葉大掾製

現金
唐和砂糖所
相州藤沢宿
日野屋次兵衛

名物
小田原本町
[illegible]
[illegible]

小田原青物町
[illegible]
[illegible]

御用
小田原青物町
御菓子司
[illegible]屋美濃大掾

名物
小田原高梨町
[illegible]梅
八百屋兼吉

相州
小田原新宿
御菓子所
柏屋初蔵

一流
[illegible]ハツ橋
大森橋際
湊屋伊兵衛

御臺殿用

本元

亀の甲せんべい

かめ川池のはし

若菜屋製

千客萬來

御楊枝

和州

菓子所

亨木天王町

萬屋和泉

元祖

太こう立石

唐からし漬

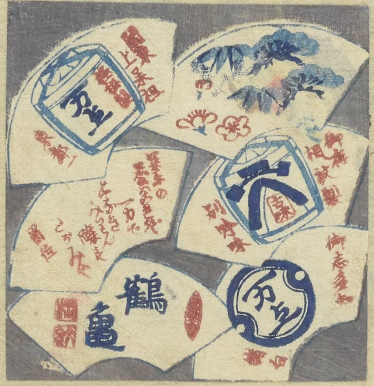
極製

亀田屋製

小田原新宿町

京御菓子所

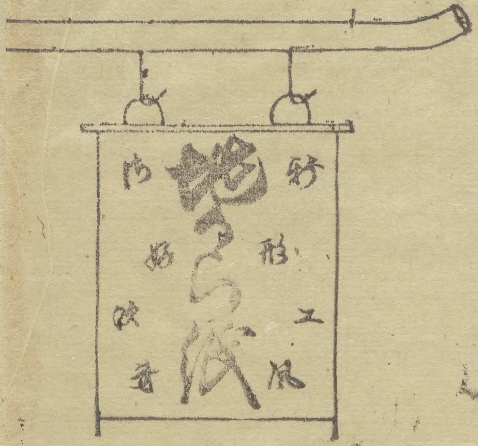
菓子屋多喜蔵



紀州 梶惣(?)

けんきん大安賣

各様益御機嫌克被遊御座恐悦至極奉存候
随而私店之儀年来紙類渡世仕来候処此度
去春より段々御評判よろしく御用向之儀被仰付難有仕合奉存候
就而は此度地紙類新ニ仕立候て江戸表ハ勿論諸国
此度新工風にて好み次第格別下直に仕差上申候
相勤申候間御用向之儀被仰付被下置候様奉希上候以上



小田原町
地紙屋
紙八

透頂香 外郎

透頂香功能

一 せきつけざくけし
一 御気を滴し
一 御上志川
一 御治中の状
一 ちやくはらく
一 酒どくをけし
一 癪気をさんじ

一 ぜつう口病ひ
一 御血をめぐらし
一 御むねの痛之
一 御いきぎれ
一 たんをきり
一 魚どくをけし
一 脾胃をおぎなふ

神仙ぶさう此家伝方牛馬の病ひに用て妙
出店せうるに仕候 小田原
ういらう

金銀箔附花 透頂香（とうちんかう）
一 金銀の丸
一 金銀の鏤
一 金銀の角
右箔ういらう壱包ニ付
百文より添應は
小田原
ういらう

御菓子

ねりやうかん
金平糖
むらの花
ちよろぎ
亀の甲せんべい
豆アタミ見製

豆州熱海
(キ)
萬塗物細工所
丸屋喜助

名物
上
小田原高梨町
萬漬物類
八百屋兼吉

(旭)

熱海名産
請合
風流楠細工
福田屋安次

豆州熱海
(青)
[illegible]物所
遠州屋庄左衛門

豆州熱海
小やうじ
御本陣被選

本豆州下田岡方
(吉)
せんべい
家東屋吉兵衛

煉羊羹

三嶋
大中島
稲垣屋

三嶋大中島町
京御菓子所
稲垣屋七左衛門

駿州元吉原
まんぢう
飴屋幸助

京都駿府札之辻町
出店
御菓子所
扇子屋庄兵衛

(極製)
縁の海

下田岡方
御菓子所
東屋製

しるし上

岩淵 河内屋

京都出店
駿府札之辻町 扇子屋庄兵衛

懐中 [illegible]しるこもち

[illegible]

名産 勢
駿府 呉服町五丁目
和実梅
濱松屋清吉

備後消渇
飴巻
[illegible]
精製御菓子司
駿江尻八江町
[illegible]

駿州小吉田
銘物
長門飴
本家稲葉源右衛門

駿府[illegible]町
青木屋惣八

駿河 名物
賤機焼 志めりたまご入

一たまごは[illegible]

駿府新通四丁目
賤機 幾右衛門

名 は 産

駿府江川町
篭来塗物細工所
菓婦屋猪兵衛

[illegible]

根本 竹

相州箱根風祭村
[illegible]物細工
平野屋吾吉

江戸 [illegible]
大[illegible]
[illegible]

煉羊羹

伏見京橋
煉羊羹所
駿河屋製

御目印
浪花講
御定宿
水戸道中小金町中程
[illegible]

御膳 梅 御用
一服一泉
大森山本

御用
越州福井魚町
羽二重瀧雲丹
[illegible]屋甚兵衛

乍憚口上

一 当御国葉草ハ扱煙草之義ハ往古より [illegible] 多葉粉 [illegible]

年来 [illegible] 刻煙草商売仕来候ニ付 [illegible]

[illegible] 仕合 [illegible] 猶又当年 [illegible] 仕合

[illegible] 風味 [illegible]

[illegible] 何卒 [illegible]

[illegible] 御用向之節 [illegible]

[illegible] 希上候以上

御国産

葉煙草
刻多ばこ 松しを

田

甲府柳町三丁目
山田屋金助

[illegible] 御用之節ハ [illegible]
大安売 松しを 小売仕候
[illegible] 御用向之節 [illegible] 希上候以上

梅酒
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

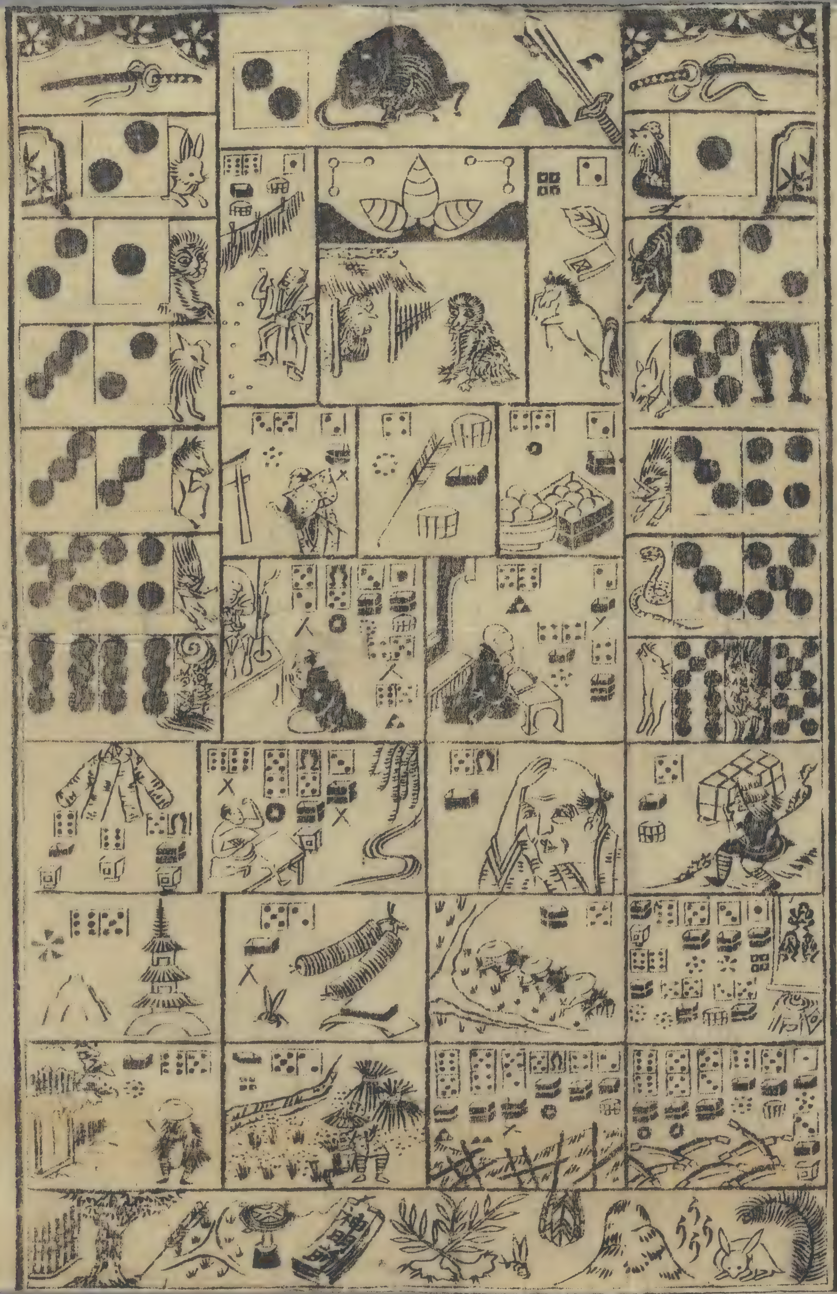
無名異陶器効能

無名異ハ我州金坑の産を最とし
効能名書ニ詳なり就中ハ瘀血を
流暢し食毒を消解するより
神驗あまた我翁積年意匠を
凝し創めて陶器ニ製造せし
より今ニ三十年遂ニ普く世に
愛翫せらるゝ事ハ人の知る所の
諸君子此器の殊効ニ経驗し
あらハ永く福寿を保つ己なる
恩沢を蒙らんと云爾

佐渡相府 月
文久癸亥仲冬 伊藤富太郎 誌

名古屋
[illegible]町伊勢町東へ入
太白製
[illegible]
辻らし入
[illegible]屋金七調

御國名産
[illegible]
雲



御宿坊

尾州名古屋京町西
上畠町
鍋屋傳兵衛

當地ゟ當府ニ参詣之者御座候ハヽ右宿ヘ
被仰付候御光来之程奉待上候以上

養氣酒
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

忍冬酒
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

菊酒
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

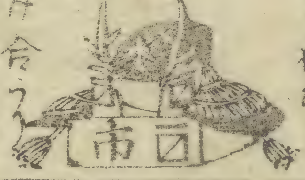
備後鞆津
保命酒

味淋酒
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

本直酒
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

十一味
不老酒
御藥入
備後鞆
保命酒屋
中村吉兵衛

煉酒
備後鞆
中村吉兵衛



小　合　中　大　小　中　合　大
通　通　通　通

代代代代代代代代代

江戸芝神明前
本屋三河傳

本家升市

御
用
筑前福岡本町
生情巻掛蠟燭
吉井屋藤平

かけ禰なし

一西川より東稲木村紅
店の茂ミ御積り者より右薬代
當方に而差上候て有之申候

御多葉粉入

勢州いなぎ村

つぼや清兵衛

紅店

名物口上

煙盤器仕候付[illegible]代[illegible]物[illegible]
[illegible]物[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]奉[illegible]上

巳
巳九月

[illegible]

1863

C.P.D.

□ 無類 御秘 からし巻 かうでかんず

□ 無類 日光唐がらし

□ 無類 志そ巻しそ

□ 同 梅むし巻

□ 同 梅乃花漬

□ 同 小菊巻

□ 和州 梅干漬

□ 別製 梅み巻

□ 同 ゆずとうがらし

□ 同 てりのこ巻

□ 義分 あさ盛

□ 坊茶記 みくのん酒

□ 同 志巻酒

中仙道天神橋

福嶋屋萬吉

本直酒

備後鞆

保命酒屋

中村吉兵衛

雲落鴈

無類 萬 御引抜

中仙道天神橋

からし志そ巻

福嶋屋萬吉

らしや　おりもの
金巾更紗類
とけい　類
ぎやまん類
どうめこめん[illegible]

横濱弁天通弐丁目

唐物類

浅井屋徳蔵

[illegible]
[illegible]

[illegible]

御免　名産

神鹿伐角
[illegible]
根元　本家
御彫物司
南都三笠山麓住
春栄堂藤原清永

刊次三枚

拾壹

諸　合

児入掛ちうし
小合袋
御徳用里袋
昭引御早[illegible]
手甲[illegible]掛[illegible]

高遠　喜多屋作太郎

人丸山名産
御菓子用

松露糖

[illegible]

五ツ ほり ...

駿府

三

現金 呉服町五丁目

籠来塗物品々

寄賣 土佐屋久七

明石肆子瀬

名産物品々

播本和風所

松露糖

明石人丸山

御菓子

本家

正銘切請合

現銀かけねなし

本家 本文殊四郎

泉州堺数囲寺西門前

かうか刺右衛門

現銀かけねなし

本家 本文殊四郎

正銘切請合

泉州堺妙國寺西門前

かちや 利右衛門

人丸山名産
銘菓菓用

松露糖

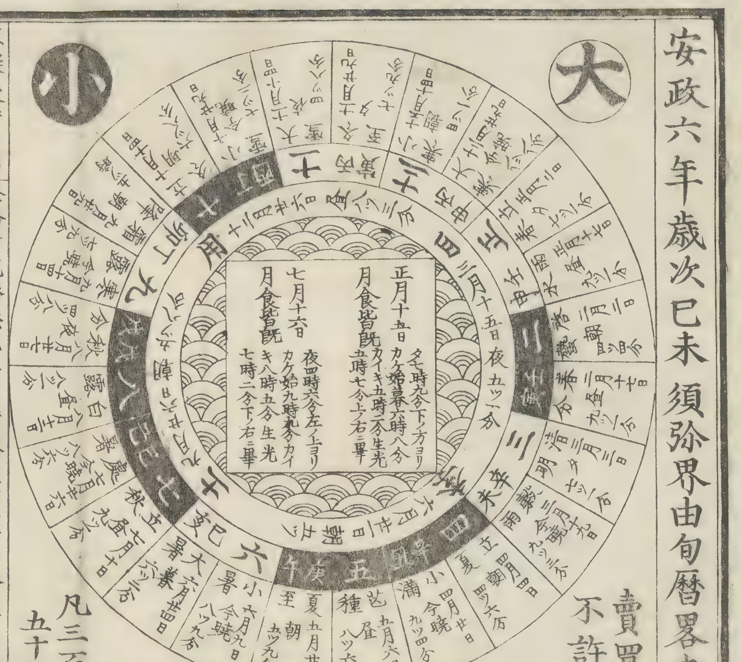
明石舞子濱
名産物品々
播本和風亭

松露糖

明石 人丸山

安政六年歳次已未 須弥界由旬暦畧書

賣買不許



凡三百五十四日

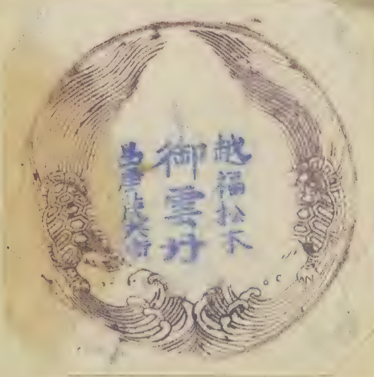
不擬授時頒暦経論所説暦法元無有錯謬唯布算具略推歩精粗要信佛説天地家々作徴差覧者察焉 張府 中野友安

歳徳明方 寅卯間 五吉

金神 午未申酉

天赦日	正月七日 三月八日 五月廿三日 八月十日 十月廿八日 十二月廿九日
甲子	二月廿三日 四月廿四日 六月廿六日 八月廿七日 十月廿八日 十二月廿九日
庚申	二月十九日 四月廿日 六月廿二日 八月廿三日 十月廿四日 十二月廿五日
八専	二月十一日 四月十二日 六月十四日 八月十五日 十月十六日 十二月十七日
天一天上	正月廿二日 三月廿三日 五月廿四日 七月廿五日 九月廿七日 十一月廿八日
十方暮	正月十三日 三月十四日 五月十五日 七月十六日 九月十八日 十一月十九日
社日	二月十七日 九月二日
三伏日	初伏六月十二日 中伏六月廿二日 末伏七月十二日

彼岸 二月十四日 八月廿四日 初午 二月五日 八十八夜 三月晦日 二百十日 八月五日 入梅 五月十三日 半夏生 六月三日



芭蕉仕女圖

晤陽遲暑夜西頭艶曲生懽舞
未休清露晴溥蕉葉冷空亡紈
扇忽驚秋

克晦

吳裝山水

鄭之駿

仝

李景白

濃州茶屋物 [illegible] 赤坂宿
金花堂 [illegible] 所
[illegible] 住 木雲堂 [illegible]

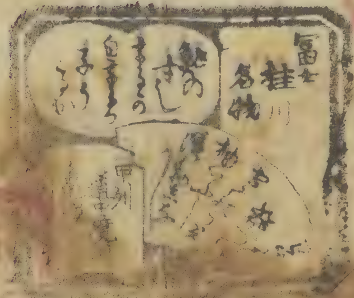
八王子八日市下町
御餅菓子所
元木屋長五郎

快然堂月課詩題

春曉聽鶯　梅邊睡鶴圖
江村春雨　折花仕女圖
僧榻春晝　桃花源記圖
謝人送茶　杜鵑叫月圖
夏夕待月　鍾馗嫁妹圖
荷亭睡起　夏山欲雨圖
雨夜聞蟲　星河飲牛圖
山房秋夜　月下擣衣圖
蘆岸秋晴　東籬晚節圖
廣寺觀楓　枯木寒鴉圖
觀寒牡丹　江灣雪艇圖
歳晩訪梅　映雪讀書圖

甲子孟春　越堂鈴木濟撰

一閑張御燗火入



博多津　安座製

現金
正札
松
御誂向足袋
手引そろへきらかけ
甲あわし
信州飯田松尾町弐丁目
[illegible]木屋松次郎

玉露製

御茶調進所
美濃部[illegible]

御菓子

尾張
御菓子所
[illegible]

元祖京都烏部山

御小粒

壹包百銅
半包四十八銅

一 抑此御薬ハ小児第一の奇法(きはう)にしてうまれて
より十五才までの内すべての驚風(きやうふう)をよくさとし
并めでたし ○さんぜんをよく治(ぢ)して[illegible]
そうなしにてうかくしにてみんきやう[illegible]
のむしを治してよみんのうく[illegible]
かぎりけせんのうをおもはとのむ諸病一切
用ひてよろし[illegible]とするのもこしひのんちに
世をまもつて[illegible]
たけ[illegible]あつかれてちらうく[illegible]
ほかなる病ひその病を治することなかるべし
此御小粒丸ハ小児十五才迄の用薬にて万病を
治するに天下一の名方なるゆへ用ひ[illegible]
一 大人ハ男女をはなれ[illegible]
おのおのこころみのあるに[illegible]用ひ[illegible]
[illegible]大人小児ともに諸病に用ひて[illegible]
[illegible]病ハそれぞれに[illegible]
[illegible]切のうちに[illegible]かなし[illegible]
病[illegible]用ひてよしと知るべし

取次所

賣弘所
豆州加茂郡柳瀬村
山下忠左衛門

一 小児大人一切風邪一切の御薬ニ
[illegible]
[illegible]男女大人ハ諸病に用ひてよし
○小児ハ十五才迄年の[illegible]用ひてよし十五才より
一 壹服十五粒ツヽ用ひてよし
用方ハ大人さゆにて用べし
小児ハちゝにて用べし
△さんぜん諸病湯ツヽ元[illegible]用度といふべし

悠久その昔し漢土聖帝乃御恩沢ふかく此薬を御伝ハ御業
法を御服統の尊像を御伝方より授り在しより御中ハ
申に及ばず御外藩之諸國の人々も称て奇妙薬と用ひ来る
善人の病痛を治し諸生寿を保つかしむ実ニ二百年以来
の聖業是をもてうるもの世にすくなし　当御寺より先年
拙家へ御相続せしめ御調合被用もとるに何病ニよらず寿命
の論をまつもの急に服候諸人のうち霊験仕ることハ冥加
有難く尊ひ可被成候

論一天万象の

右の御薬法且又御伝授御業ひとへの御かけの霊業同様ニて
御ん病ニ被成候共御命を存じ候間頂戴なさし御服用
なされ候以上

賣弘所

豆州加茂郡柳瀬村

山下忠左衛門

右

御年々遍[illegible]
御用[illegible]

[illegible]んの紅

京都[illegible]通寺町西入町

小町紅仕入所
紅屋[illegible]

伏見大阪下し
東国[illegible]
大津江戸積出し
江戸大廻し[illegible]

諸国諸名物[illegible]問屋
京高瀬二条下ル[illegible]町目

万
万屋[illegible]右衛門

[illegible]乃実

名産
播州赤穂
御焼塩
金尾屋

京寺町通
四條上ル町
大藤

加茂川名物
鷺しらず

抑此小川にすむ魚は身ちいさく外にならびなき
鷺さへ見しらぬ名産の味ひえもいはれず及ばず
鱗の吸物煮附さへ何ぶ御賞翫あれ
一ト箸向ふの右の霜解をあてて其外
猪加減温泉の鐘や瀬山名産此望まれ
の薬缶を名づけ此に加茂川そもそも雑喉
ならに賞にかうして二タ月の日数をわたる水の
流るる精進もなく鼻の動くやうなる
風雅の美上よろしき責ぞめでたけれ[illegible]

天橋名産
宮津
しの子
あまがや製

京寺町通
四条上ル東側
大藤

魚之製

嶋平御葛切

禁裏

御庭拝見

正月十九日 舞御覧

三月三日 闘鶏

七月十五日 御燈籠

節分日

京都名所方角之圖

太古山莊詩會揭題

嘉永三年庚戌　會期每月十五日

月	題	題
正月廿五日	新鶯	梅喚橋（下層取山莊二十境名）
二月	菅廟紅梅	山明水秀樓
三月	夢桃源	黄石橋
四月	蕉陰茗話	朗鑑池
五月	鍾馗圖	松下問童遲
六月	山行遇雨	洗惡詩溪
七月	七夕閨怨	天竺花壘
八月	木犀蒸	待月峰
九月	重陽不登高	鶴糧田
十月	霜曉	白雲紅葉亭
十一月	雪中南天燭	龍脊堤
十二月五日	掃塵	別有天扃
傑作他日上木		開天社

大カステイラハ其原紅毛將來佳品なりヨテ予が先祖幸ひに是を
得て常に茶菓酒肴として是を嗜むに不測無病壯健となりしかバ
紅毛人に其秘方をも求め製し是を用ゆるに五臓を調和して虚損を補ふ
するの功あるよりて老て衰へず終に百余歳の壽を保つ其功驗一々記すに
いとまあらず故に世人所望日々に多くしても名遠近に聞へしかバ夫より同
名の品を製するもの數多ありといへども其本方他に知るべきにあらざれバ吾が
家傳の製品ハ格別の事なれバ希くば四方の君子此識を用ひて他製と
等しからざる事を知り給へかしと云爾

○ 御用ひかたハ御茶菓子のことはもちろん

寒氣の節ハ　○　ふところに入沸湯にてめし上り

暑氣の節ハ　○　おなじく冷泉にひたしてめし上り

酒肴にハ　○　おなじく大根おろし山葵の類にてめし上り

その外養ひの為にハ此節冷ものゝ取合せはもの二つ多くよし

○ 旅行にもまづ第一に求めらるべし　御進物箱入品々出し
升て　極製花ぼうろ　此外品々御望みにまかせ差上

長崎直傳　京三条通室町西入丁　鱗弘堂製

[illegible]

一 [illegible]

京三条車道

鳥一三 [illegible]

京都一家 人見丹波掾

御針所

根本みすや 藤原伊督

[illegible]

京三条大橋西詰

みすや 人見いとく

寒中氷御蕎麦切

雪曝

[illegible]

御用寒製所

信州仁科大町 福島孫三郎

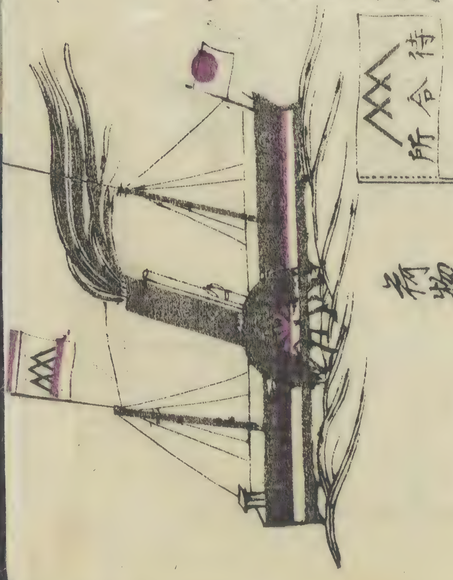
みすや 御針 [illegible] 伊督

詩

[illegible]

横濱出帆

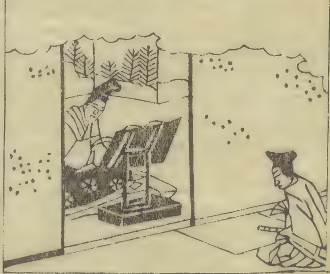
東京出帆



[illegible]

信州飯田白山寶前

第九大吉



有名須得遇

名をあげ人よりしりきん とおもふ〳〵のぞみのまゝなるべし

三望一朝遷

三ツの望を一どにとげ出世さかりならせり

貴人來指處

こゝろをさんにいろ〳〵楽人目上の引まわしにあづかるなり

華菓應時鮮

花も木のみもとりよき〳〵さかりくるべしとなり

▲此みくじにあふ人ハ錦天上の舟をうかむるがごとし天の川を渡じていよ〳〵よし ○病人おもくとも本ぶくすべし 縁談ものぞみのごとくよし ○旅立すべし八十日にてよし ○待人ハ来るべし 諸ミの事かなふべし ○そせうハ十日に出来るなり ○うせものハはやく出べし ○うりかひともによし ○あらそひ事よし 親ぶんうしろみ人のすじにかけてよし ○生死十日八九分まで ○家ゟそうハさ百よし 縁談をきめるべし ○たび立むこよめとり けんぶく万よし ○万事よき武士これる又力ハ見さし世もち手れる亭舎拍れ

現金 正札

羅紗ゟ呉呂服八丈織厚板品々

江戸地張きせる根附袋物品々

風流 御袋物類

華類御烟草入

飯田知久町一丁目

三星屋與兵衛

名産

寒製山薬

東海道尼子宿西合

蔦屋平兵衛

井口

山城

天

諸 大根 合

天

諸 大根 合

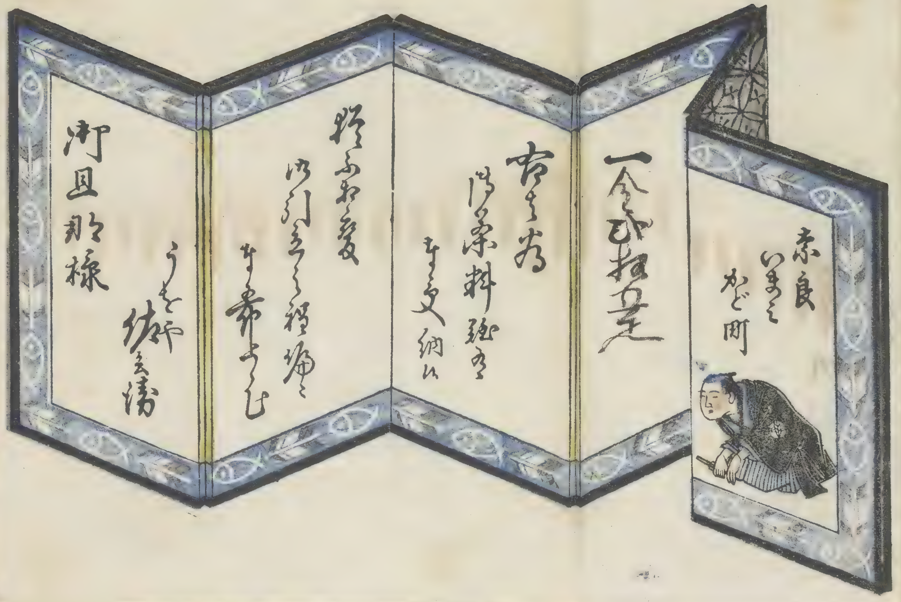
弐分判百両

箱根

江雲披

家造各色名箋揀選名厰
秘製賽雪貢箋專製氷雪
貢箋恐有假冒特増彷帖
為記庶不致悞

[illegible]



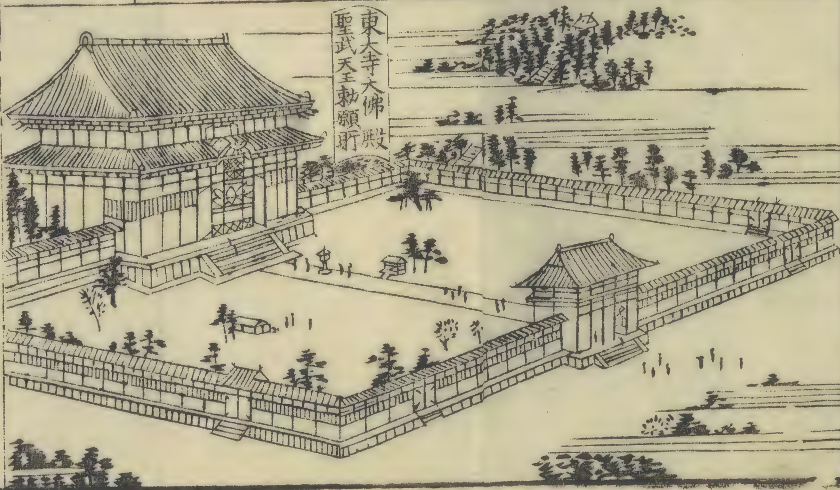
御菓子

尾陽
本町壹丁目
御菓子屋
桔梗屋賀續

皇都堺町通四條上ル二丁目
御免
寵示
御所御用白粉所
本家 延吉屋
小下肥後大掾
藤原良徳

大極上生白粉

南都東大寺大佛殿



金銅毘盧舎那佛寸尺

一御たけ五丈三尺五寸御かほながさ壱丈六尺はゞひろさ九尺五寸まゆげ
五尺四寸五分めのながさ三尺九寸はなのたかさ一尺七寸くちのながさ三尺七寸おなじくはゞ
壱尺五寸みゝのながさ八尺五寸らほつかず九百六十六ほつのたかさ壱尺かこみ六寸
かねのようつでうすでさて丈五尺なかゆびのながさ五尺五寸まえんげ台
ざたかさ丈さしわたし六丈八尺蓮のべん五十六まいことごとく志ゆうどまん
だらゑなりおこうのながさ八丈三尺五寸よこさしわたし七丈八寸光ぶつ十六たいけん八尺づゝ

御脇立　によいりんくわんおんこくうぞう様　御たけ三丈八尺
但し二天　毘沙門天　持國天
御堂高さ　拾六丈
但し南面　東西　三十二間
南北　二十八間
くわいらう　東西　九十間
南北　百間

やまと
奈良
御定宿
ならさる沢のいけ東へ
いまみかど町
うとや佐之清
尼中筋又ならの内において名々方の名所とかうり名
方やどさしつゝ外宿につれ申すものまでこれ
なりいかやうとでれなれなけなく御入来御願上候

京三條通寺町東入

御用

加賀田

御鏡所

藤原正次

[illegible]

三

[illegible]

[illegible]

駿府茶町通

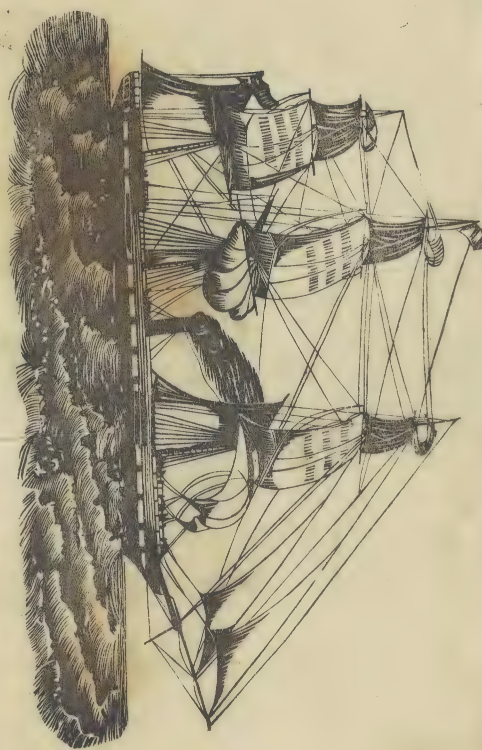
三河屋佐吉

家傳 小兒驚病丸

一貼代 百銅
半貼代 五十銅

一抑此薬ハ唐醫孫真人の小兒万病を治する神薬之
予が家に傳へて已に年久し親族知己の童子に
大病ある時ハ速に用ひてこれを試るにその功驗
まことに妙にして一つとして治せざるはなし誠に小兒
保生の神薬之故に今普く世に披露するものなり
一小兒十五才より一才まで用ひて五疳の病を治するものなり
用ひてその一切の病を知りたまへ
一急驚風慢驚風にハ歯をくひしめ手足ひきつり
目を上へつり死せんとするとき急に用ひてよし
一かいろまけやせおとろへ種々の病に用て神妙之
一ちゝはきをぢりまた癖虫乳をはき腹ふくるゝに吉
すみをくひ或ハ土喰白米の下ぎくなりたるによし又吉
息早くつかへあくび泣出さるによし
一むしせきむし積つゞき夜泣によし
一せむしくさむねによし
一てんかんに用るにハ積の二度ひの損をとまきる
一ちやうきは夕がたに用ひおけばよく驚風の妙之
一つかへつよく用ひて妙なり
一たんせきむね積せまり喘咳つよく神薬をもちゐて吉
喰傷までも心よくはきくだし
一えんめいによし
一さくらんとしやすく用ひてその功世に神
一與老いさきのおよそあそびとるによし

本家 信州飯田在黒田村
代田齋太郎製



當節阿波殿ノ為メニ二重ナル内車ノ蒸気船ヲ同家ノ好ミニ任セ造営セリ是ヲ下直ナル代價ヲ以テ蒸気船其外種々ノ船々ヲ造営仕候

蒸気船其外種々ノ器械ニ付キ積リ書キ繪図等モ仕候

蒸気船帆前船其外蒸気器械等ノ損失ノ修覆ニ付キ積書キ仕候

河蒸気船類ハ四ケ月ノ間ニ造営仕候事御請合仕候

船々ヲ造営シ且繪図等ニ於テハ職人共ト要数示教致置候

蒸気船其外ノ船々造営スルニ付キ御注文ヒ次第御方々ニハ於外ノ雜費ヲ用ヒズ仕支仕候間此ノ職人共ヲ御雇ヒ有之し有り度奉願候

神戸ノ弁天濱
船大工 フヒツジエラルド ストロム
高木靜江

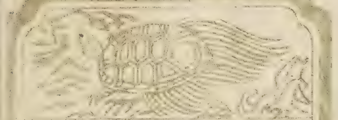
御用

奥州相馬中村田町三丁目東側北戸合

御瀬戸物師

世代清次右エ門

中



伊吹山蓬艾

五百匁入

日本第一 [illegible]

近江国 [illegible]

[illegible]

[illegible]

御團扇

南都

福智院

三笠山麓

冷風軒

花歌
寿泉苔

晴雲堂

㊞柏

高金物道具類

作書洗画物花器茶器鉄びん

東京浅草四条通御所衛

柏屋喜三郎

名物

吉

小田原筋違橋町

萬漬物屋

みのや吉兵衛

名木御枝折

箱根

湯本

現金

上

唐物類品々

無掛直相改格安ニ差上申候

奉ねかい上以上

相模并大通二丁目

岡部屋彌兵衛

進上

尾張本國

名古屋延米相場 休日定 商始六日

正月	二月	三月	四月	五月	六月

玄猪

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月

御鷹城 御茶壺 御鷹 長州様 紀州様 薩州様 御上使 通行 當日 臨時休

萬延二年辛酉年 歳徳明之方 寅卯之間

入梅 五月五日

半夏生 五月廿五日

土用

社日

彼岸

八專

三百五十四日

節分

玄猪

尾陽米市場

米屋兵吉

御藥種所 名古屋京町七間丁東ヘ入 園田屋宗助

サフラン 阿蘭陀 セメンシーナ

アラビヤゴム キナ〳〵

マグ子シア テリアカ

熊膽 麝香

眞珠 龍腦

沉香 一角

白檀 犀角

御朝鮮 廣東 人参類

御種 廣東

板看

和漢調藥所 梅松堂

御印 目

虫くだし 阿蘭陀 セメンシーナ丸

賣弘所 京町 園田屋宗助

一服代八十文

セメンシーナ丸 一服代

書画 誹諧 清會引

書画之於技一也書之畫之有其廣狭是以衆人不學者諸於詭誹亦然矣今茲三州爲吟青々蘇先生爲樂来于飯田而優游既三旬焉因題干其光耀會而一日催書画風流延祈諸先生好古清雅遊公河乎里徳之生来而埜花爲幸也可蒞伏乞貴臨

會主 飯田左松軒 椒谿拜

卓池先生
諸先生

神 天嶺 南岱 保㥥 雲仙 雪谷 翠嶺 常㥥

助

九月四日不限晴雨

銘酒

蓬莱

[illegible]の井

書簡紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

綿[illegible]
傳馬町

庚戌改別銘

御煎茶

壹斤ニ付直段

川柳	三匁五分
菊之香	四匁五分
和田原	六匁
青梅	七匁
生喜撰	拾匁
一時雨	拾匁
池乃尾	拾匁 十二匁
鳫かね	拾三匁
寒蘆	拾六匁
生徽凉	二拾匁
白折	三拾匁
みどり里	四拾三匁
久保花	六拾目
政所	五匁
朝日	五匁五分
橋姫	六匁五分
早梅	八匁
朝ぼらけ	九匁
櫻苗	拾壹匁
初緑	拾二匁
花橘	拾五匁
霊芽	拾八匁
松之浪	二拾五匁
若撰	三拾五匁
初折	四拾匁
[illegible]	五拾匁

京柳馬場通綾小路下西側

御用御茶所 美濃部忠兵衛

壹斤ニ付直段
所 五匁 日 五匁五分 姫 六匁五分 梅 八匁 希 九匁 苗 拾壹匁 緑 拾二匁 橘 拾五匁 芽 拾八匁 浪 二拾五匁 撰 三拾五匁 折 四拾匁 多 五拾匁

東入町

谷仁兵衛

庚戌改別録

御煎茶

壱斤ニ付直段

川柳	三匁五分	政所	五匁
菊之香	四匁五分	朝日	五匁五分
和田原	六匁	橋姫	六匁五分
青梅	七匁	早梅	八匁
生喜撰	拾匁	朝ほらけ	九匁
一時雨	拾匁	櫻苗	拾壱匁
池乃尾	拾匁 十二匁	初緑	拾二匁
鳫か絃	拾三匁	花橘	拾五匁
寒蘆	拾六匁	靈芽	拾八匁
生徽凉	二拾匁	松之浪	二拾五匁
白折	三拾匁	若撰	三拾五匁
夛の里	四拾三匁	初折	四拾匁
久保花	六拾目	寿ゝ多	五拾匁

御茶所

京一條通大宮東入町

小谷仁兵衛

御茶銘目録

御濃挽茶 拾匁付

極上鷹之森 代銀	六匁九分
同 初昔	五匁
同 祝之白	三匁六分

右葉茶直段 半斤一袋 但十匁入付

代銀 六匁五分 四匁六分 三匁二分

御薄挽茶 拾匁付

上別儀 代銀	二匁七分
別儀	二匁一分五厘
廣葉	壱匁六分五厘

御煎茶 壱斤 但弐百目付

友白髪	廿八匁二分
折葉	廿三匁五分
雀舌	拾九匁八分
玉露	拾八匁八分
折鷹	拾七匁
霜花	拾七匁
萬代	拾四匁
高雄	拾二匁六分
薄雲	拾壱匁三分
初櫻	拾匁三分
鶴之丸	九匁四分
寿	八匁四分
山葛	七匁五分

上極揃	壱匁四分五厘
極揃	壱匁一分五厘
別儀揃	九分
別揃	八分五厘

右葉茶御結 壱斤 但弐百目付

代銀 四拾九匁 三拾七匁七分 廿八匁二分 廿四匁五分 拾八匁八分 拾四匁 拾二匁三分

喜撰	七匁五分
朝日山	七匁壱分
千歳	七匁一分
山吹	七匁壱分
初紅葉	五匁六分
笠取	五匁六分
一森	四匁七分
柳色	四匁七分
信楽	三匁八分
撰葉	二匁八分

御茶料右之通リ下ケ直段ニ而改申候若御念入指上
申候尚亦御進物箱入壷詰等御好次第御揃可申上
此外ニも御好御用被仰付候ハヽ可成丈御念入可仕候以上

癸卯改板

御用御茶所 京柳馬場通綾小路下西側 美濃部忠兵衛

御茶銘目録

御濃茶 斤一袋 但十匁入

銘	斤一袋	挽十匁入
極上薫之森	六匁五分	六匁九分
同 初昔	四匁六分	五匁
同 祝之白	三匁二分	三匁六分

御薄茶 壱斤 但二百目入

銘	壱斤	挽十匁入
上別儀	四拾九匁	二匁七分
別儀	三拾七匁七分	二匁壱分五厘
廣葉	廿八匁二分	壱匁六分五厘
上極揃	廿四匁五分	壱匁四分五厘
極揃	拾八匁八分	壱匁一分五厘
別儀揃	拾四匁	九分

御煎茶 壱斤 但弐百目入 直段

銘	直段
久保花	六拾目
末広美	五拾匁
美少里	四拾三匁
初折	四拾匁
若撰	三拾五匁
白折	三拾匁
高雉	拾二匁六分
初緑	拾二匁
薄雲	拾壱匁三分
櫻苗	拾壱匁
池ノ尾	十拾二匁
生寿撰	拾匁
友白髪	廿八匁二分
松之浪	二拾五匁
折葉	廿三匁五分
生徽涼	二拾匁
雀舌	拾九匁八分
玉塵	拾八匁八分
折鷹	拾七匁
霜花	拾七匁
寒蘆	拾六匁
花橘	拾五匁
萬代	拾四匁
雁ヶ袮	拾三匁
滴覚	九匁四分
寿	八匁四分
早梅	八匁
喜撰	七匁五分
山吹	七匁壱分
青梅	七匁
橋姫	六匁五分
初紅葉	五匁六分
和田原	六匁
一森	四匁七分
川柳	三匁五分
撰葉	二匁八分

御茶料右之通り正直段ニ改メ格別念入指上
ヶ申候御進物箱入壷詰等御好次第相調進
可仕候御用之節者何時ニ而も御申付希上候以上

御茶所
京車屋町通御池下ル町
糸屋清兵衛

御茶銘花價附

松柏園

御濃茶 半一袋ニ付

極上初昔	七匁五分
後昔	七匁五分
松乃白	五匁四分五リ
蓬莱昔	五匁四分五リ
後森白	五匁七リ
鶴ノ祝	五匁七リ
好乃白	五匁七リ
大祝昔	三匁九卜
小松白	三匁九卜
四つ乃葉	三匁九卜
若森白	三匁九卜
小梅	三匁九卜
初鶴亀	三匁九卜
祝乃白	三匁九卜
初むかし	三匁九卜
千代の白	三匁九卜

御煎茶 壱斤ニ付

老松	五拾弐匁
白鷹	四拾三匁
不二鶴	三十六匁
白折	三拾匁
碧乳	年ゝ不同
松濤	廿六匁
打曇	廿三匁
万年	拾弐匁
萬代	弐拾匁
綱代木	十八匁
玉すゝれ	拾八匁
正喜撰	十五匁
若緑	拾三匁
花橘	十弐匁
喜撰	拾匁
山吹	八匁

御薄茶 壱斤ニ付

極昔	七拾八匁
極結	六拾匁
別段昔	五十弐匁
上別段	四拾三匁
並 別段	三拾六匁
好相結	三十三匁
廣葉	三拾匁
並 廣相	廿六匁
相詰	廿三匁
上極揃	弐拾匁
極揃	拾六匁
別段揃	拾三匁
極粉 并 次粉	

以上

一 森 六匁
花さし 三百五拾文

蔓蘇蘂粉

右銘茶之外ニも常ゝ上茶共ニ新茶ハ一ト年ニ八十八夜ニ
貴出し申上候よしまの左ニ

初緑
波乃戸
松柏系

御進物御茶壺箱詰御好ゟ進上仕候并ニ茶具
品々取次仕候

ふくさ物 袋師友湖
指物 棚師宗仙
茶物 高井十左衛門
茶釜 池田喜波
茶巾羽箒 枚炭類

名古屋傳馬町通東名町東江入

升屋半三郎製

嘉永五子七月改

宇治御茶銘并價録

通向壱斤 目方二百目

御薄茶壱斤

本場別製 上別儀	四拾匁
別儀	三拾五匁
上別揃	三拾匁
極揃	二拾五匁

薄茶園御煎茶

玉露	三拾二匁
白折	三拾匁
蒼雪	二拾五匁
折鷹	二拾匁

御煎茶

本場別製 千代の春	二拾五匁
大福	二拾四匁
明友	拾八匁
相生	拾六匁
霜花	拾五匁
明柳	拾四匁
花橋	拾二匁
別製 正喜撰	拾匁

別製 和泉山	六匁
山吹	五匁
岸の松	五匁五卜
一森	四匁五卜

御徳用向

森の月	五匁
玉椿	四匁
青柳	三匁五卜
初桜	三匁

朝日山	九匁
喜撰	八匁
玉錦	七匁五卜
喜撰粉	三匁二卜
上花粉	二匁七卜
花の粉	二匁

御濃茶品々

[illegible]

庄

御茶司

現金賣 無掛直

飯田松一町堀端 梅明庵

和泉屋庄三郎

諸國 白黒 さとう るい

[illegible]

人参三臓圓

此薬をふしてよ 用ひ 飛もちひ 世を紙に記す

此人参三臓圓ハ去享保十二年丁未閏正月於崎陽清人
岐来氏周南名医より主剤修治製法精秘授して
抑世三臓の周南先生ハ医の奥妙術の達者にして世
人の法施百揆を補益大ニ腎精を益し五臓の薬に
備まで去ぬる妙薬の仙圓なり 湯剤之法病に効ある
人々して治せぬといふことなし 仍て病めるもの常に用ひんことを
欲す 広世にひろむ 三臓の湯 本来脾腎五臓を補ひ 養ふ
補ひがたく 虚弱にして治し [illegible] 根本なり
脾腎三臓の気減り 発を [illegible]
其外 [illegible] の気を益して三臓虚損し気力少く
動きかたく 平世気力少く 腎の臓耗し 顔色悪く
なり痛みなど 法施百薬を用ひ 効なき人 此薬
仙法ハ [illegible] 心脾腎三臓を補ひ
其一の [illegible] 気血をよくめぐらし 大ニ腎精を益す
六腑を堅くし 法施百揆の法を [illegible]

◆心の臓衰へて気力うすく 気力 [illegible] にて
胸痛して 後の下より汗出て 心中 [illegible] に
驚きやすく 物ごとを案じ ものごとに [illegible] よく
健忘 [illegible] 痛み 顔色 [illegible] 不寝

◆脾胃の臓衰へて食すすまず
腹内 [illegible] 神
よく食すれども痩せ [illegible] 労

く [illegible] 脾肺 [illegible]
[illegible] 世に [illegible]
法に [illegible] 神
[illegible] 胃
病 [illegible] 小 [illegible] 文 [illegible]
目 [illegible] 婦人
[illegible]
男女 [illegible]
精を [illegible] 湯を
[illegible]

是 これ
紋 もん
一切
男人
上

[illegible] 一剤代 [illegible]

吉野五運

坂屋喜右衛門

平七	四郎	十助	右衛門	兵衛	[illegible]	四ッ谷
鳶木宿	新田町	高遠下町	奈良井宿	三日町	湖	松屋卯右衛門
扇屋佐金治	藤野屋武兵衛	扇屋徳右衛門	美濃屋卯兵衛	篭屋林平	角屋吉弥	

[illegible] 其外 [illegible] 一切 [illegible]

いさゝ又[illegible]しく胸のつかへ疳積脾胃をおかへ
[illegible]しく[illegible]
[illegible]
◆腎[illegible]
[illegible]
[illegible]

口述

家傳人參三臓圓ハ魚肉不浄之禁品を
不用他家ニ無之仙家より傳る所近来
吉祥護運福田五運杯と申其外所々ニ
紛敷似よりの看板を出シ又ハ能書等同様ニ
こしらへ賣出し候ものも有之候由右
ハ新薬ニて御座候間御用ひ之節ハ御紋
名所等篤と御改の上御求め下さるべく候
右ニ付かんばん無之店ニ而ハ一切賣人
出不申候間急度御吟味被下候様奉願上候

御免調合所　本家　法橋吉野五運
大坂うつぼ谷三休橋西へ入

辰三月

吉野五運

坂屋喜右衛門
半七　蔦木宿　扇屋佐金治
四郎　新田町　藤野屋武兵衛
十助　高遠下町　扇屋徳右衛門
右両　奈良井宿　美濃屋卯兵衛
兵衛　三日町　笹屋林平
湖　角屋吉弥
北小野　古田屋[illegible]　宮木宿　世務屋清次郎
澤村　綿屋繁之丞　[illegible]　松屋卯右衛門

取次看板之出見世ニ於て外一切賣不申候

〇いつとても又痰そのほかしく他のつかへ痰積脾胃をとろへ 痰咳久しく止ざるに[illegible] 〇[illegible]下血痔また[illegible]
◆腎精[illegible]
[illegible]

御煉薬曲物入代金 半剤代四匁 一剤代六匁

御免調合所 法橋吉野五運

大坂うつぼ谷三休橋筋西ゟ八町

売弘所 信州松本本町 生坂屋喜右衛門

上諏訪茅宿 河内屋繁治	仁科大町 角屋平七	蔦木宿 扇屋佐金治
池田町 油屋長八	下諏訪宿 丸屋要四郎	新田町 藤野屋武兵衛
諏訪岡谷 麻屋喜三治	木曽福島 米屋平助	高遠下町 扇屋徳右衛門
薮原宿 小松屋新九郎	伊那郡坂下 扇屋九右衛門	奈良井宿 美濃屋卯兵衛
松島宿 柳屋幸八	洗馬宿 吉野屋与兵衛	三日町 笹屋林平
北小野 古田屋友左衛門	宮木宿 世栃屋清次郎	潮 角屋吉弥
澤村 綿屋繁之丞	四賀四ッ谷 松屋卯右衛門	

取次所有[illegible]外一切売人[illegible]